

## 北海道ハイ・タク最賃協議会を開催

北海道ハイ・タク最賃協議会は、1月13日（水）幹事会及び学習会を開催した。

幹事会では、昨年12月に行った「白タク合法化阻止」に向けた民主党北海道



写真左より、鈴木事務局次長、紺野議長、永田事務局長

への要請行動および、道内各地域で行った道内選出民主党北海道国会議員団への要請行動について報告をするとともに、[2016年度の役員体制](#)を確認した。

また、「[連合北海道 2016 春季生活闘争方針](#)」の提起では、「中小企業で働く仲間や、非正規労働者の処遇改善」に力点を置き、「底上げ・底支え」・「格差是正」を目指した取り組みを行い、中小の賃上げ要求については、賃上げ水準目標（6,000 円）と賃金カーブ維持分（4,500 円）を含めた総額 10,500 円以上を目安に引上げを求めること、非正規労働者については「誰もが時給 1,000 円の実現」をめざすことを確認した。



幹事会後に行われた学習会には約 80 名が参加し、全労済北日本事業本部の大瀧淳彦氏より、「FP から見た全労済の上手な活用法」について講演を頂いた。

講演の冒頭、身近な課題を題材にした 5 問の〇×クイズで会場を沸かせ、「生活者の夢や希望をサポートするのが私たち FP の役割です」と語りはじめると、参加者は一気に講演に引き込まれた。人生の 3 大支出である「教育資金」・「住宅資金」・「老後資金」をどのように確保していくか、お金を 2 倍にするための簡単な計算式「72 の法則」、住民税の仕組みや共済と生命保険の違いなど、わかりやすい講演であつという間の 1 時間であつた。

北海道ハイ・タク最賃協議会は、春季生活闘争を通じた[労働者自主福祉運動](#)の取り組みを推進し、全労済を有効活用して組合員の可処分所得の向上を目的とした「生活保障設計運動」の浸透をはかることや、リニューアルした「住まいる共済」への積極的な加入促進、「自賠償共済」への声かけ運動を進めています。皆さんの取り組みへの参加をお願いします。